

年頭所感
新年あけましておめでとうございます

奈良県弓道連盟 会長 吉本清信

昨年は平城遷都1300年祭に併せて、第61回全日本弓道遠的選手権大会を主管地連として皆さんのご協力のおかげで、成功裡に開催することが出来ました。弓道の普及に、お手伝いすることが出来たことと思います。



今年は、近畿地区連合会の当番県に当たっております。会員の皆さんには、お世話になりますが、よろしくお願いいたします。

また、全日本弓道連盟では、公益法人化に向けて、秒読み段階になってきました。県連においても、あらためて、連盟組織・連盟行事のありかた、財政の見直し等行っていかねばなりません。卯年にちなんで、飛躍の年としたいものです。皆さん方のご意見をお聞かせください。



特別臨時 中央審査 結果

(12月19日 東京)

教士 山本 元祥 さん

教士合格おめでとうございます。

平成22年 表彰

※第28回全国高等学校弓道選抜大会

男子団体の部 優勝 及び 技能優秀校

★檜原高校 (丸 和浩 高間光司 山本雅也 津田博由)

男子個人の部 優勝 ★ 高間光司 (檜原高校)

※第55回 全国高等学校弓道大会

男子団体の部 4位入賞

★檜原高校 (丸 和浩 津田博由 小西啓佑 高間光司

山本雅也 坂口 賢)

女子個人の部 6位入賞 ★ 樋口若奈 (檜原高校)

※第7回全国中学生弓道大会

男子団体の部 5位入賞

★香芝中学校 (倉角哲也 竹岡滉貴 村岡尚弥)

男子個人の部 5位入賞 ★ 倉角哲也(香芝中学校)

※第61回国民体育大会

少年女子 遠的競技 2位入賞

★澤 一彦 生田瑞貴 峠谷亜由 加藤美緒

※第61回全日本弓道遠的選手権大会

男子の部 3位入賞 ★山口亮二

※日本体育協会創立100周年記念・作文コンクール

中学生の部 最優秀賞 ★長岡 亜佐実(郡山東中学校)

◆平成23年 新年射初会

平成23年1月9日(日) 檜原公苑弓道場

143名参加

★支部対抗戦(上位10名の的中数)

① 奈良支部 32中 ② 檜原支部 29中

③ 郡山支部 27中 ④ 香芝支部 25中

⑤ 天理支部・天理大学 22中

★トーナメント戦

優勝 : 廣澤 誠哉(天理)、植谷 元世(天理)、
中井 正剛(天理)、吉田 誠宏(天理)

準優勝 : 長濱 正伸(檜原)、原田 祐介(檜原)、
綿松 昭寛(檜原)、新子 修平(五條)

3位 : 梶岡 翔太(郡山)、古山 美希(郡山)、
石井 安奈(郡山)、檜原 充(郡山)

3位 : 中谷 邦弘(弓道教室)、村岡 公紀(布目)、
西浦範光(石打)、吉本 清信(布目)

■大和神社御弓始祭（天理）

新春恒例の大和神社御弓始祭が1月4日行われました。
当日は天候にも恵まれ、神事のあと、墓目と呼ばれる鐮矢で魔を祓い、宮司、お宮の総代さん等が大的に向い五穀豊穡、平安を祈り行射されました。



引き続き天理南中学校の弓道部員10名が2人ずつ大的に向い、順次堂々とした射を披露しました。

県弓道連盟としては今年、久しぶりに百手式を執行いたしました。的は半的を使用し、射手は奈良市で練習している者が中心で、昨年末練習した成果があり、的中率もよく、観客から盛大な拍手が送られました。

また、「古式ゆかしく弓射る」と読売新聞の奈良版でも紹介され、そのほか奈良新聞にも載りました。



この行事は、昭和26年から続けられており、お宮の伝統行事として今後我々も続けていかなければならないと考えております。興味のある方は是非参加していただき、伝統を引き継いでいくという役割を担っていただきたいと思っています。
(新司正人)

◆布目108中射会（平成22年）

天気予報がピタリと的中し、大晦日恒例の第15回布目108中射会は、周囲の景色が見るうちに白一色になるほどの大雪の中で行われた。残念ながら雪のために参加を断念した方も出るなか、21名が集合して午前9時25分のスタートとなった。矢振りによる1番射手は吉本先生が引き当て、その最初の矢が見事に的を射抜き、的中音が降りしきる雪を突き抜け、緊張感漂う道場内に響いた。

競技は三人立ち座射で行い、3順目までは審査の間合いの一手行射、4順目からは競技の間合いとなり、90中を過ぎた7順目以降は1本づつの行射となった。最後は和やかな雰囲気の中、106、107、108中が続けさまでにでるというあっけない幕切れとなり、平成22年を締めくくった。



競技時間は約4時間、結果はつぎのとおり（敬称略）。

50中目・70中目飛び賞	古田博規
90中目飛び賞	吉本清巳
107中目アシスト賞	吉本望
108中賞	松井成之（3回目）

因みに最的中は吉本先生の11中であった。

競技の後はいつものように年越しそばやおでんなどをいただきながら、思い思いの話題に花を咲かせた。今回は悪天候を考慮して、例年行う掃除などを省略して早めに会を終了し、安全な帰路を申し合わせて雪の山添村を後にした。
(松井成之)

■第230回地連審査の結果

暮れの12月12日、奈良市弓道場にて審査会を実施しました。受審者総数は101名で、2級合格者7名、1級11名、初段31名、弐段8名、参段6名、四段は廣澤（天大）、奥田（奈教大）、平田（県教室）の3氏でした。次をめざし、各所属でのさらなる修練を重ねてください。

なお審査終了後の審議では、高校における指導者が不足していることや、一部の学校で残心で弓が前へ倒れすぎること、高校生の初心者と一般の初心者との間に大きな隔りがあることなどが課題として出されていました。（審査部）